

はじめに

地域の識字・日本語教室では、さまざまな目的をもった方々が文字のよみかきや日常の会話を学んでおり、学習者にとって、教室は学習の場であると同時に、生活面のさまざまな相談が行える場でもあります。

そのような地域の識字・日本語教室を担っている多くの方は日本語教育の専門家ではなく、市民ボランティアとしての学習支援者であり、学習者に寄り添い、学習者の興味や関心のあることから、日常生活での疑問などを題材にとり入れ、学習者のニーズに合わせた学習活動を行っています。

平成29年度の調査では、大阪府内の約200の教室で、約5,200人の学習者が約2,900人の学習支援者とともに学習活動を行っています。教室からは、「学習者の増加に対し学習支援者が不足している」や「個々の学習者に適した教材が不足している」といった意見がありました。

また、大阪府の在留外国人数は、平成30年12月現在約240,000人で全国で3番目に多く、国による新たな在留資格の創設により、今後さらに在留外国人が増加することが予想されます。

大阪府では、こうした状況において、地域の識字・日本語教室の一助となるよう、国、市町村及び関係機関と連携を深めて教材の開発・提供・学習支援者の養成などに取り組んでおり、今回、聞く、読む、話すといった活動から学べる、初級学習者向けの教材を作成いたしました。

多くの方が学ばれている府内の識字・日本語教室でこの教材が活用され、学習者と学習支援者がともに学びを深めていかれることを期待しています。

最後になりましたが、この教材作成にご協力をいただきました皆さまに改めてお礼申し上げます。

令和2年3月

大阪府教育庁
市町村教育室
地域教育振興課長

このテキストを使うすべての人へ

■ 語り、つながり、いきいきと生きるために ■

本書は、日本語学習者（以下、学習者）が、日本語学習支援者（以下、支援者）や日本語教師の話す日本語を、副教材のイラストを併用しながら、「聞いて、まねして（リピートして）、そして、話して（自分のことを語って）」活動する中で、日本語というツールを獲得していくためのテキストです。

近年、わたしたちの周りには生活者として暮らす“日本語を母語としない人たち”が増えていきます。学習者と支援者そして日本語教師が、このテキストを“かけはし”にして互いにつながり、同時に、学習者は日本語で自分を語ることを通して、日本語で地域社会とつながっていく。わたしたちはそんなことを願って、このテキストを作りました。

活動においては、支援者のみなさんは「やさしい日本語」を使い、また、学習者に寄り添って「聴く」ことで、学習者と日本語でコミュニケーションを重ねてください。学習者が自信を持って社会につながる第一歩を踏み出し、よりよく過ごせるよう、「生きる力につながる日本語」をサポートしてくださいと思います。そして、なによりも、このテキストを使うすべての人が、いきいきと楽しみながら、日本語でのコミュニケーションを体験してくださることを、プロジェクトメンバー一同、心から願っています。

最後になりましたが、このテキストを作成するにあたり、大阪府教育庁はじめ、ご協力くださいました多くの方々にも、心よりお礼を申し上げます。

ねんはる ちよしゃいちどう
2020年春 著者一同

教室のことは

はじめましょう。 Hajimemashoo.	开始上课 Let's begin.	시작합니다. Chúng ta hãy bắt đầu.
お終わりをしましょう。 Owarimashoo.	下课吧 Let's finish.	끝냅니다. Chúng ta hãy kết thúc.
わかりますか。 Wakarimasuka.	明白吗? Do you understand?	알겠습니까? Bạn đã hiểu chưa?
はい、わかります。 Hai, wakarimasu.	是的，明白了 Yes, I understand.	네, 알겠습니다. Đạ, tôi hiểu rồi.
いいえ、わかりません。 Iie, wakarimasen.	不，不明白 No, I don't understand.	아니오, 모르겠습니다. Chưa, tôi chưa hiểu.
もう一度 お願いします。 Mooichido onegai-shimasu.	请再来一遍 Once more please.	한번 더 부탁드립니다. Xin bạn nói lại một lần nữa.
みてください。 Mite kudasai.	请看 Look.	보세요. Hãy nhìn.
聞いてください。 Kiite kudasai.	请听 Listen.	들어 주세요. Hãy nghe.
言ってください。 Itte kudasai.	请说 Say.	말해 주세요. Hãy nói.
読んでください。 Yonde kudasai.	请读 Read.	읽어 주세요. Hãy đọc.
書いてください。 Kaite kudasai.	请写 Write.	써 주세요. Hãy viết.

● 支援者が言います。聞きましょう。
しえんしゃが います。ききましょう。

● いっしょに言いましょう。
いっしょに 言いましょう。

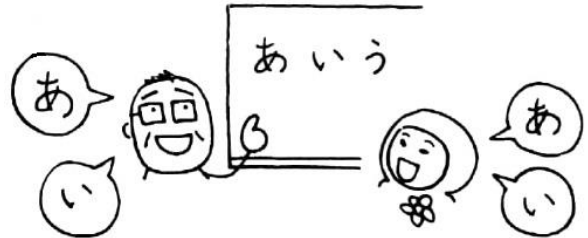
ひらがな・カタカナ

●やってみましょう。

①



②



		A			I			U			E			O	
	a	あ	ア	i	い	イ	u	う	ウ	e	え	エ	o	お	オ
K	ka	か	カ	ki	き	キ	ku	く	ク	ke	け	ケ	ko	こ	コ
S	sa	さ	サ	shi	し	シ	su	す	ス	se	せ	セ	so	そ	ソ
T	ta	た	タ	chi	ち	チ	tsu	つ	ツ	te	て	テ	to	と	ト
N	na	な	ナ	ni	に	ニ	nu	ぬ	ヌ	ne	ね	ネ	no	の	ノ
H	ha	は	ハ	hi	ひ	ヒ	fu	ふ	フ	he	へ	ヘ	ho	ほ	ホ
M	ma	ま	マ	mi	み	ミ	mu	む	ム	me	め	メ	mo	も	モ
Y	ya	や	ヤ	(i)	(い)	(イ)	yu	ゆ	ユ	(e)	(え)	(エ)	yo	よ	ヨ
R	ra	ら	ラ	ri	り	リ	ru	る	ル	re	れ	レ	ro	ろ	ロ
W	wa	わ	ワ	(i)	(い)	(イ)	(u)	(う)	(ウ)	(e)	(え)	(エ)	o	を	ヲ
	n	ん	ン												
G	ga	が	ガ	gi	ぎ	ギ	gu	ぐ	グ	ge	げ	ゲ	go	ご	ゴ
Z	za	ざ	ザ	ji	じ	ジ	zu	ず	ズ	ze	ぜ	ゼ	zo	ぞ	ゾ
D	da	だ	ダ	ji	ぢ	ヂ	zu	づ	ヅ	de	で	デ	do	ど	ド
B	ba	ば	バ	bi	び	ビ	bu	ぶ	ブ	be	べ	ベ	bo	ぼ	ボ
P	pa	ぱ	パ	pi	ぴ	ピ	pu	ぷ	プ	pe	ぺ	ペ	po	ぽ	ポ

kya	きや	キヤ	kyu	きゅ	キュ	kyo	きよ	キョ
sha	しゃ	シャ	shu	しゅ	シュ	sho	しよ	ショ
cha	ちゃ	チャ	chu	ちゅ	チュ	cho	ちよ	チョ
nya	にや	ニヤ	nyu	にゅ	ニュ	nyo	によ	ニョ
hya	ひや	ヒヤ	hyu	ひゅ	ヒュ	hyo	ひよ	ヒョ
mya	みや	ミヤ	myu	みゅ	ミュ	myo	みよ	ミョ
rya	りや	リヤ	ryu	りゅ	リュ	ryo	りよ	リョ
gya	ぎや	ギヤ	gyu	ぎゅ	ギュ	gyo	ぎよ	ギョ
ja	じゃ	ジャ	ju	じゅ	ジュ	jo	じよ	ジョ
bya	びや	ビヤ	byu	びゅ	ビュ	byo	びよ	ビョ
pya	ぴや	ピヤ	pyu	ぴゅ	ピュ	pyo	ぴよ	ピョ

		wi	ウィ			we	ウエ	wo	ウオ
kwa	クア	kwi	クイ			kwe	クエ	kwo	クオ
gwa	グア								
						she	シェ		
						je	ジェ		
						che	チェ		
		ti	ティ	tu	トウ				
		di	ディ	du	ドウ				
fa	ファ	fi	フィ			fe	フェ	fo	フォ

「きいて まねして はなして」の使い方

■テキストの構成と使い方

このテキストは、パート1～3の3部構成で30の「ユニット」と「スピーチしましょう」でできています。

パート1は、パート2の練習に入る前の基本練習をします。パート2は、語りを聞いて、まねして、最後には自分のことが話せるようになることを目標に進めます。パート3は身近な場面での会話のやり取りを練習します。そして、最後に、習ったことをたくさん使ってスピーチをします。

1ユニットの学習時間の目安は120分です。ユニット1から順番通りに進めてください。あくまでも目安ですので、地域、日本語学習支援者（以下、支援者）、学習者の状況に合わせて、自由に使ってみましょう。

■パート1

あいさつ、数字、時間、カレンダー、お金の単位などが練習できます。

活動を通してパート2へのウォーミングアップをします。

*pp.3～5の「教室のことば」「ひらがな・カタカナ」は毎回練習してください。

■パート2 活動の手順

パート2はユニット毎のイラスト（挟み込み冊子）を使って活動します。アイコン下の□には、それぞれの活動が終わったら、学習者にチェックを入れてもらいましょう。

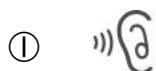
1) 語り手のイラストを示し、トピックは何か、だれの話かを伝えます。

2) 【ことば】… 語り文の中に出てくる大切なことばを載せています。

支援者が発音し、イラストやジェスチャー、翻訳などで意味を示します。

学習者には、自分で意味を調べておくように言うか、その場でテキストに意味を書き込むように言います。そして、支援者が発音したことばを聞いて、まねして、発音してもらいます。5分程度を目安にしてください。



3) 【語り文】… 各ユニットの登場人物の語りの部分です。



学習者にイラストを見せながら、語りをゆっくり読みます。意味が伝わるように、絵を指さし、ジェスチャーも交え1文ずつ学習者の理解を確認しながら読んでください。意味がわかるまで、2, 3回繰り返してもいいです。



語りの意味がわかったら、支援者はイラストを見せながら1文ずつ発音し、その後に、学習者にまねして、発音してもらいます。ここでは聞いた音を口から出せるように練習するので、文字は読みません。できるだけ、1文が滑らかに言えるまで、何度も何度も繰り返し言う練習をします。文が長くて言えない場合は、「、」や区切りのいいところで切って練習をしてください。3回、4回、5回と繰り返し、滑らかさが出てくるまで根気よくやりましょう。

- ③  次は、学習者が、語りをすべて音読します。まずは、文字を読んでみます。文字がまだ読めない場合は、支援者が先に読んで、学習者には文字を目で追いながら読んでもらってください。すらすら言えるようになるまで、繰り返し練習します。
- ④  最後は、イラストを全部示して、学習者に言ってもらいます。「聞いて」「まねして」何度も言うという①～③の練習を基に、今度はイラストだけを手掛かりに、語りをすべて自分で話してみる活動です。少し単語が抜けてしまっても、意味が通じれば大丈夫です。

4) 【Q&A】

「語り文」の内容について質問します。テキストには、質問も答えも書いてあります。学習者同士がペアで質問し、答える練習をします。疑問詞の意味や疑問文への答え方を学ぶことができます。ペア練習が終わったら、支援者が質問し、学習者にテキストを見ずに答えてもらいます。Q&Aの答えは一例です。自然なコミュニケーションになるよう、質問に対する答えだけでなく、さらに付け加えて答えているものもあります。

5) 【質問に答えましょう】

学習者自身のことを話す練習をします。支援者はテキストの質問を「やさしい日本語」で学習者に伝えます。学習者が言葉に詰まってしまう場合は、支援者が手助けをしてください。一問一答のやり取りにならないよう、学習者とおしゃべりを楽しんでください。学習者の話すことに興味を示して、「もっと話したい」という意欲を引き出しましょう。

6) 【話しましょう・書きましょう】

【質問に答えましょう】で話したことを学習者が自分自身の「語り」として話す活動です。支援者や他の学習者に聞いてもらいます。また、宿題として書いてきてもらってもいいです。

7) 【ちょっと文法】

「語り文」の中に出てきた文のパターン(文型)を整理することができます。文型が視覚的にわかるように、示してあります。

■パート3

ここでは、場面会話を練習します。支援者が会話を演じて、学習者に意味を伝えます。できるだけ、自然な会話のやり取りができるように、役割練習をします。その際には「学習者」の役割は学習者が、その他の役割は支援者が担当してください。会話に必要な小道具を準備するなどして、実際のコミュニケーションに近い練習をしてください。

■スピーチしましょう

テキスト最後の練習です。習ったことをフル活用して、スピーチを練習します。この活動は発表会や修了式など、実際に大勢の人の前で話す機会を設けて、学習者が「わたしは日本語が話せるんだ」という自信につなげてください。

※大阪府教育庁市町村教育室地域振興課 HP から次のものをダウンロードすることができます。

- ・大きいサイズのイラスト
- ・もくじ、パート2「語り文」のローマ字版

(URL→<https://www.pref.osaka.lg.jp/chikikyoiku/osyaberi/manesite.html>)



もくじ

■はじめに		p.1
■このテキストを使うすべての人へ		p.2
■教室のことは		p.3
■ひらがな・カタカナ		p.4
■「きいて まねして はなして」の使い方		p.6
■もくじ		p.8
■このテキストに出てくる人たち		p.10
■ パート1 <u>はじめてのにほんご</u>		p.11~
ユニット1	はじめまして	p.12
ユニット2	でんわばんごうは?	p.14
ユニット3	じかん	p.15
ユニット4	カレンダー	p.16
ユニット5	いくらですか	p.17
■ パート2 <u>わたしのにほんご</u>		p.19~
ユニット6	わたしの一日	「わたしの一日」 p.20
ユニット7	買い物	「おはようベーカリー」と「きんきスーパー」 p.22
ユニット8	朝ごはん	「すてきな朝ごはん」 p.24
ユニット9	わたしの大切な場所	「喫茶店「ムーンライト」」 p.26
ユニット10	わたしの好きなもの	「アニメが好きです」 p.28
ユニット11	わたしの町	「わたしの町、西町」 p.30
ユニット12	休みの日	「遊園地」 p.32
ユニット13	プレゼントの思い出	「スマホケースと傘」 p.34
ユニット14	いろいろなことができる場所	「おおきにモール」 p.36
ユニット15	ふるさとの町	「わたしの町、ダナン」 p.38

ユニット 16	がっこう お 学校が終わってから	「ダンスの練習」	p.40
ユニット 17	わたしのしたいこと	「奈良へ行きたいです」	p.42
ユニット 18	にほんごきょうしつ わたしの日本語教室	「楽しい日本語教室」	p.44
ユニット 19	しごと わたしの仕事	「コンビニのアルバイト」	p.46
ユニット 20	しょうらい わたしの将来	「自分の会社を作りたいです」	p.48
ユニット 21	にほん くる 日本へ来るまえのわたし	「わたしは美容師」	p.50
ユニット 22	あつ 暑いとき	「夏の便利なもの」	p.52
ユニット 23	たす 助けてもらいました	「大阪弁の勉強」	p.54
ユニット 24	くに た もの わたしの国の食べ物	「たこやき大好き」	p.56
ユニット 25	にほん くる 日本へ来てから	「花粉症」	p.58

■ **パート3** 会話のにほんご p.60~

ユニット 26	にしまち いっちょめ す 西町1丁目に住んでいます	p.61
ユニット 27	い いっしょに行きませんか	p.62
ユニット 28	よう つつ プレゼント用に包んでください	p.63
ユニット 29	かし つく お菓子を作りましょうか	p.64
ユニット 30	しゃしん と 写真を撮ってもいいですか	p.65

■ **スピーチ**しましょう p.66

■ **かず**・**かぞ**かた **じかん**・**カレンダー**・**かぞく**・**ぎもんし** p.68

■ **かつどう**の**てび**き (がくしゅうしえんしゃむ) p.76

■ **さくいん** p.78



このテキストに出てくる人^でたち^{ひと}

